

ICT活用事例【英語科】

導入段階での活用

活用事例1 《小テスト》

- 【活用の狙い】 知識の定着を図る
- 【実践の流れ】
- ① 新出の語句で、書けることが必須の単語を練習するように指示をする。
 - ② 授業開始後、ロイロノートで小テストの枠を配付する。
 - ③ 提出させ、ロイロノート上で丸付けをして返却する。



活用事例2 《音読発表の提出》

- 【活用の狙い】 知識の定着を図る
- 【実践の流れ】
- ① 教科書本文を扱った授業後に、本文の音読練習をするように指示をする。
 - ② 次の授業開始直後にロイロノートで音読を録音させ、提出させる。
 - ③ 評価の視点を示しておき、評価と助言を書き込んで返却する。



展開段階での活用

活用事例3 《モデル動画を通した空所補充・暗唱練習》

- 【活用の狙い】 興味関心をつかませる・課題をつかませる
- 【実践の流れ】
- ① 電子黒板でモデルとなる会話文のアニメ動画を視聴する。
 - ② 数回繰り返して動画を視聴し、ワークシートの会話文穴埋めの問題を解く。
 - ③ 自分のタブレットで動画を視聴し、会話文の音読練習を進める。
 - ④ ペアで会話文を暗唱し、その会話文を用いて新出の表現について教師が説明をする。



活用事例4 《対話活動での記録を残す》

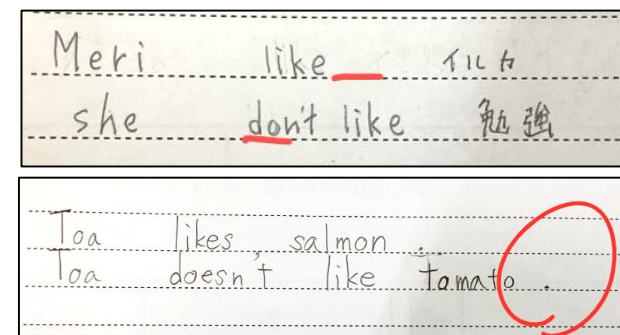
- 【活用の狙い】 生徒の理解、思考を深める・知識の定着を図る
- 【実践の流れ】
- ① モデルになる会話文をロイロノートで示し、音読練習をする。
 - ② 会話文の中に含まれる自分のことを表現する英文をロイロノートのカード上に記入させる。
 - ③ 友だちと会話し、友だちの答えをロイロノートのカード上に残させる。



終末段階での活用

活用事例5 《英作文の提出》

- 【活用の狙い】 生徒の理解、思考を深める・知識の定着を図る
- 【実践の流れ】
- ① 対話活動を終えた後、友だちの情報を英作文する。
 - ② 英作文を終えたら、ワークシートをカメラで撮影し、提出する。
 - ③ 提出された英作文を見て、各生徒に指導、助言する。



活用事例6 《英文法に関する動画》

- 【活用の狙い】 わかりやすく説明する・知識の定着を図る
- 【実践の流れ】
- ① 新出の英文法を扱った授業では、終末にデジタル教科書の「文法アニメ」を見て本時のおさらいをする。
 - ② 文構造がアニメーションで動き、板書よりも視覚的に文法を理解できる。
 - ③ 必要なときには、動画を停止し、補足説明をする。

